■美術家シリーズ

茨城県は昔から多くの優れた美術家を輩出してきました。このシリーズでは、そうした本県ゆかりの美術家を中心に、さまざまな作家を紹介しています。

洋画

海を描く― 鈴木良三

師・中村彝との思い出や、一貫して海景を描き続ける情熱などについて聞く。 v-001

（1985年制作／16分）

大地を描く 服部正一郎

スケッチ風景、アトリエでの制作過程を交え、風景画家としての魅力を探る。 v-002

（1985年制作／18分）

時として花のように… 吉田正雄

二科会評議員として多忙な氏をアトリエに訪ね、華麗な作品世界を紹介。制作姿勢なども聞く。v-007

（1988年制作／13分）

イメージの世界を紡ぐ 画家 山本文彦

精霊のような裸婦像で知られる氏の作品の制作過程を紹介。芸術観や作品に寄せる思いも聞く。v-014

（1989年制作／14分）

四季の風景を描く 酒泉 淳

豊かな自然、四季の移り変わりの美しさを描き続ける氏が、水彩画の魅力について語る。 v-016

（1989年制作／14分）

馬と花と 片岡洋一

奥久慈へのスケッチ、馬や花をテーマとした油彩画の制作過程を通じ、片岡氏の芸術観を紹介する。v-020

（1990年制作／22分）

感動無限 画家 長山義一

画業５０余年、常に感動あふれる絵を追求してきた氏の芸術観を聞く。日立美術協会創立時のエピソードも。 v-022

（1990年制作／15分）

画室の一隅 平野逸郎の世界

爽やかな人物画で知られる氏の制作風景と作品を紹介。ムベ社、県展創設のエピソードも。 v-025

（1990年制作／15分）

季節の中で 石井 勤

千波湖畔、奥久慈でのスケッチなどを交えながら、水彩画の魅力、制作姿勢について聞く。 v-029

（1991年制作／18分）

立ち盡くす風景 西田 亨の世界

小金井公園でのスケッチや、アトリエでの制作風景を収録。静謐で雄大な西田絵画の魅力に迫る。v-032

（1991年制作／23分）

水郷を描く 茂木直喜の世界

スケッチや水彩画の制作風景を収録。水郷の水と風と太陽を追求する芸術観も併せて聞く。 v-035

（1992年制作／18分）

スーパーリアリズム 上田 薫の世界

生卵やジェリーを克明に描いた「究極のリアリズム」で知られる氏の制作過程を紹介。作品の魅力に迫る。v-038

（1992年制作／18分）

青の系譜 寺門 晃の世界

「空・海・大気」をテーマに、青と白の独特な抽象空間を描く氏にインタビュー。制作過程も紹介。 v-042

（1993年制作／17分）

東洋的幻想の世界を求めて 画家 立見榮男

緑を基調とした幻想的な作品で知られる氏をアトリエに訪ね、制作風景を紹介。作品に寄せる思いも聞く。 v-049

（1994年制作／19分）

風化への憧憬 洋画家 飯泉俊夫

埴輪や冬の海を描いた作品で知られる氏をアトリエに訪ね、重厚なマチエールから生まれる作品の魅力を探る。 v-052

（1994年制作／16分）

赤と黒のハーモニー　洋画家　相澤和郎

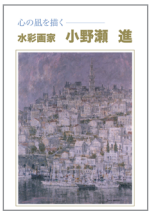
印象的な赤と黒の色彩で、ピエロやインド舞踊の女性などを描く氏の作品を紹介。また氏の俳人としての一面も紹介する。　v-053

（1994年制作／16分）

絵空事からのメッセージ　十河雅典の世界

鮮やかな色彩と文字を用いた作品で知られる十河氏。制作風景やインタビューを通して、その作品世界に迫る。　v-057

（1995年制作／16分）



心の凪を描く ―　水彩画家　小野瀬　進

スケッチやアトリエでの制作風景にインタビューを織り交ぜ、叙情的な小野瀬作品の魅力を紹介する。
v-058

（1995年制作／15分）

花の車 ―　洋画家　中山節子

花やアンティックドールなどをモチーフに、人間の哀歓を描き続ける中山さん。制作風景に併せ、作品に寄せる思いも聞く。　v-061

（1996年制作／12分）

巡礼の旅路　水彩画家　鈴木信男

下地に石膏を使う氏独自の技法を紹介。微妙な色彩と細い描線でイスラムの巡礼者や大道芸人などを描き続ける、鈴木作品の魅力に迫る。　v-063

（1996年制作／16分）

青のシンフォニー その軌跡　画家　鈴木俊行

青を基調とした抽象作品で知られる氏の制作風景を紹介。併せて抽象画の魅力や作品に寄せる思いなども聞く。　v-067

（1997年制作／16分）

民俗への回帰　画家　香取　徳

祭りや絵馬、社寺など日本的なモチーフを描き続ける氏。その制作風景を紹介し、併せて作品に寄せる思いも聞く。　v-068

（1997年制作／18分）

内なる湿原を求めて　画家　廣津龍伍

広がりのある空間構成と深みのある色彩で、水辺や湿原をテーマに心象風景を描き続ける氏。柔道家としての顔も紹介。　v-069

（1997年制作／15分）

移りゆく時の記憶　洋画家　小林　晟

古い土蔵や海辺の風景などを、重厚なタッチで描き続ける氏をアトリエに訪ね、作品に込める思いを聞く。千葉県佐原市でのスケッチも。　v-078

（1998年制作／13分）

少年時代へといざなう魔法陣
テンペラ画家　青木芳昭

テンペラというヨーロッパの古典的な絵画技法にこだわり、幻想的で知的な独自の作品世界を創造し続ける氏の制作風景を紹介。　v-079

（1999年制作／19分）

大地に生きる人々　画家　磯崎俊光

幾重にも絵具を塗り重ねたダイナミックなタッチで、僧侶やアイヌの人々をモチーフに「心のドラマ」を表現し続ける氏を紹介。　v-082

（1999年制作／11分）

夢幻の彼方へ　画家　福地　靖

ペン、油彩、水墨、パステルなど、さまざまな技法で幻想的な作品を制作し続ける氏をアトリエに訪ね、制作風景とインタビューを収録。　v-087

（2000年制作／16分）

生命の高揚を求めて　画家　佐藤政男

身近な風景を力強いタッチで描き、東光展などで活躍する氏。アトリエでの制作風景やスケッチのようすなどを紹介する。　v-088

（2000年制作／21分）

朔北を描く　画家 田中　良の世界

北海道の厳しい自然や葦原などをモチーフに、心象世界を描き続ける氏をアトリエに訪ね、油彩画の制作風景を収録。利根川河川敷でのスケッチも。
v-089　（2000年制作／16分）

遥かなる遺跡の叫び　画家 井坂　忠の世界

氏と美術評論家・中野中さんとの対談を中心に、アトリエでの制作風景や二科展出品作なども収録。幻想的で滋味豊かな井坂作品の魅力に迫る。　v-096

（2001年制作／20分）

漂泊の女たち　画家 小松興亞の世界

女性が佇む姿をモチーフにした幻想的な作品で知られる氏を日立市のアトリエに訪ね、制作風景を収録。静謐な魅力溢れる作品世界に迫る。　v-110

（2003年制作／20分）

日・月・花・心　画家 塚原明義

鳥や人、花をモチーフに、青や白を基調とした淡い色彩で、幻想的な心象風景を描き続ける氏。石岡市にあるアトリエでの制作風景やインタビューを収録。
v-111　（2003年制作／16分）

静かなる存在　画家 大竹山 規

つくば市のアトリエで制作風景とインタビューを収録。筆さばきのみで、静かな空気の中に確固たる存在感を描き出す大竹山作品の魅力に迫る。　v-112
（2004年制作／22分）

波穏やかな漁港から　画家　清水 優の世界

大洗港でのスケッチやアトリエでの油彩画の制作のようすとともに、インタビューを収録。ブルーグレーを基調とした滋味豊かな作品世界を紹介。　v-114
（2004年制作／16分）

大地の温もりへの郷愁　画家　柳田　昭

何気ない農村風景やヨーロッパの農家の趣などを、透明感のある緻密な水彩画で表現する氏の、作品や制作風景、インタビューを収録。　v-116
（2005年制作／19分）

大地に生きる　洋画家　福田玲子の世界

冬枯れた植物たちの姿に、最期の輝きと、春には再び芽吹く力強さを見い出しながら、大地の輪廻を描き続ける福田さん。制作風景とインタビューを収録。
v-120　（2005年制作／18分）

心の廃墟を描く　斎藤茂男の世界

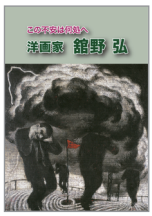
華麗な色彩と細密な描写で、神話や遺跡をテーマとした幻想的な心象世界を描き出す氏。その作品世界の魅力に迫る。　v-124
（2006年制作／19分）

それぞれの日常　佃 彰一郎の世界

日常のひとコマを独自の表現で描き、現代の人間模様を追求している氏をアトリエに訪ね、制作風景とインタビューを収録。　v-127
（2007年制作／20分）

寡黙なまなざし　洋画家　栗山　淳

荒い筆致で、寂寥の中にどこか郷愁をそそられる日本の原風景を描き続ける氏。制作風景やインタビューを通じて、滋味豊かな作品の魅力に迫る。v-129
（2007年制作／21分）



この不安は何処へ　洋画家　舘野　弘

人間の存在の不安とかすかな希望を描いた、モノクロ調の作品で知られる氏。「自分の中にある混沌とした何か」を追求し続ける作品世界を紹介。　v-131
（2007年制作／20分）

悠久への誘い　洋画家　町田博文

ヨーロッパの風景を背に、凛と立つ女性の気高い美しさを表現した詩情豊かな作品で知られる氏。インタビューと制作風景を収録。　v-136
（2008年制作／18分）

光ありきを求めて…今　洋画家　鎌田道夫の世界

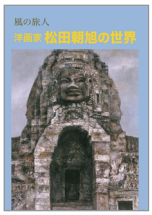
ピエロや老若男女、髑髏などをモチーフに、人間の生と死、悲哀、喜びなど、一貫して深い内面世界を表現し続ける、鎌田作品の魅力を紹介。　v-137
（2008年制作／17分）

Change Challenge Chance　洋画家　橋本 光の世界

“人間と時代”に正面から対峙し、変革(Change)、挑戦(Challenge)、機会(Chance)の3つのCを持続し続けてきた橋本絵画の世界を紹介。　v-140
（2009年制作／16分）

時・刻(とき)を見つめる　洋画家　中村光夫

鮮やかな色彩、写実に徹したモチーフ、背景の非現実的な空間など、さまざまな要素が組合わされた、作品世界の魅力に迫る。　v-142
（2009年制作／18分）



風の旅人　洋画家　松田朝旭の世界

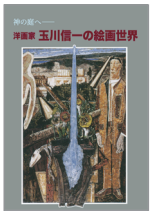
遺跡や建物をモチーフにした油彩画を制作する一方、一日2枚のデッサンをライフワークにしているという氏。そのデッサンのようすを収録。　v-147
（2010年制作／15分）

韻―静寂の彼方に聞こえるもの　画家　山中宣明

「韻」をテーマに抽象表現を追求している氏をつくば市のアトリエに訪ね、制作風景を収録。色彩とマチエールが織り成す作品の魅力に迫る。　v-152
（2011年制作／17分）

鎮魂―そして再生の兆し　洋画家　植野睦夫

終わった命、過ぎてしまった時間を封じ込めたような静物画を描き続ける氏。そのアトリエを訪ね制作風景やインタビューを収録。　v-154
（2011年制作／16分）



神の庭へ― 洋画家 玉川信一の絵画世界

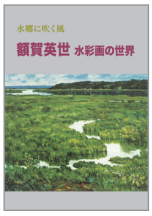
遠近法を強調した風景の中に、無表情に立つ男性を描いた作品で知られる氏。「描くことは祈ることに等しい」という、氏の作品世界に迫る。 v-156

（2011年制作／26分）

水の匂い 洋画家 北沢 計

水郷に漂う土や水の匂い、穏やかに流れる川や湖をテーマに、色や光を多面的に追求してきた氏の作品を紹介。 v-158

（2012年制作／15分）



水郷に吹く風 額賀英世 水彩画の世界

色を幾度も塗り重ね、重厚さと繊細さを兼ね備えた独自の表現で、水郷などの自然をテーマに水彩画を描き続ける氏の制作風景を収録。 v-161

（2012年制作／18分）

蓮のアルペジオ 洋画家 沼田久雪

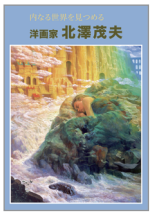
音楽をテーマに、楽器やデコイをモチーフとした幻想的な世界を描く氏。水面の波紋を独自の象嵌技法によって描く「水辺シリーズ」も紹介。 v-164

（2013年制作／15分）

暮しのある風景 荒木久夫 水彩画の世界

漁港や蔵のある風景、集落の家並などをモチーフに、そこに暮す人々の息づかいが感じられる作品を描く氏を紹介。千葉県佐原市でのスケッチも。 v-167

（2013年制作／17分）



内なる世界を見つめる 洋画家 北澤茂夫

テンペラと油彩絵具を併用し、光輝く風景を表現している氏の制作風景を収録。壮大で幻想的な作品世界に迫る。 v-168

（2014年制作／17分）

今、自然の中で 洋画家 菊池元男

海辺のシリーズや熱帯雨林のシリーズなど、濃密な世界を描き続ける氏を日立市のアトリエに訪ね、制作風景を収録。 v-173

（2014年制作／13分）

伝統と現代に重ねられるポリフォニー 洋画家 内藤定壽

克明な描写と、変形キャンバスやだまし絵のような構図で、独創性あふれる作品を制作する氏。その制作風景を紹介。 v-174

（2015年制作／22分）

曖昧の中に 洋画家 宇野 彰

柔らかな色彩空間に溶け込むように描かれた人物像で知られ氏の制作風景を収録。静謐で詩情豊かな作品の魅力に迫る。 v-177

（2015年制作／17分）

心の景色 私の画情 洋画家 川井幸久

生まれ育った大子町周辺、奥久慈の風景をモチーフに、滋味豊かな風景がを描き続ける氏をアトリエに訪ね、油彩画の制作風景を収録。 v-178

（2015年制作／15分）

こころざして50年・離れ星の輝き 洋画家 小牧 幹のエスプリ

堅牢なマチエールと広い空間を持つ独特の構図で、詩情豊かな風景画を描く氏。3.11以降描き続ける「悼むシリーズ」に込めた思いも聞く。 v-181

（2016年制作／19分）

自然、その奥を見つめて 洋画家 荒蒔邦弘

写実を貫き、対象の奥深くまで捉えるため、現場でのスケッチを大切にしているという氏。新潟県でのスケッチとアトリエでの制作風景を収録。 v-184

（2016年制作／16分）

日々そして日々 洋画家 塙 冨士夫

那珂市のアトリエを訪ねて制作風景を収録。日常の緩やかな場面の中に物語性を秘めた、塙作品の魅力に迫る。 v-188

（2017年制作／19分）

水・大気・絵画の表情 野沢二郎

プランを決めずにキャンバスに向かい、絵と対話しながら自分では予想もしなかったような画面を目指すと言う野沢さんの、制作過程を収録。 v-191

（2018年制作／21分）

北の人、そして風景 洋画家 庄司 勲

東光展出品作の制作過程やインタビューを収録。故郷の風景や朝市で働く人々などをモチーフにした「土のにおいのする作品」の魅力に迫る。 v-194

（2018年制作／23分）

やまとしうるはし 画家 武石 堯

奈良をテーマにした作品の制作過程や灯台でのスケッチなどを収録し、奔放・多彩な武石氏の作品世界を紹介する。 v-195

（2018年制作／24分）

版画

海路をもとめて　洋画家 横須賀幸男

金属や流木など様々な素材で作ったキャンバスに描いた半立体の作品や、空中から絵具を滴らせて描いた作品など、多彩な氏の作品世界を紹介。　v-200

（2019年制作／22分）

港を描く　洋画家 名倉剛治郎

昼下がりの穏やかな漁港の風景を描いた作品で知られる氏をアトリエに訪ね、制作過程やインタビューを収録。漁港でのスケッチも。　v-204

（2020年制作／18分）

描きて雪（そそ）ぐ　洋画家 岡野亮介

下地に幾層も重ねた絵具を擦りだし、さまざまな技法を用いて、抽象と写実を併存させた緊張感のある画面を生み出す氏。制作過程を紹介。　v-205

（2020年制作／20分）

ぬくもりを描く　洋画家 三好義章

愛らしい仔牛や大らかな親牛の姿をモチーフに、厚塗りの油彩で滋味豊かに表現している氏。牧場でのスケッチやアトリエでの制作風景を紹介。　v-214

（2022年制作／19分）

航海のなかにて　加藤　修

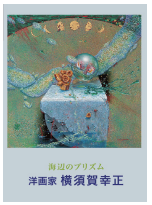
変形パネルに文字や記号を配置して鉛を巻き、表面を腐食させるなどして、命と時間をテーマにした作品を制作している加藤氏を紹介。　v-215

（2022年制作／21分）

わらぼっちの里　洋画家 武石絹枝

刈り取った後の稲わらを積み上げた「わらぼっち」をテーマに、滋味豊かな風景画を描き続ける武石さんの制作風景やインタビューを収録。　v-217

（2022年制作／20分）



海辺のプリズム　洋画家 横須賀幸正

点描を重ねた下地の上に、波打ち際で見られる事物を配して、命を育む豊かな海のイメージを描き続ける横須賀さん。その作品世界を紹介。　v-219

（2023年制作／22分）

庭に遊ぶ　洋画家 入江英子

目の前にあるモチーフに感動する気持ちを大事に制作を続ける入江さん。のどかな風景を素朴な感性で捉えた滋味豊かな作品を紹介。　v-222

（2024年制作／　分）

大地の歌　飯野農夫也の世界

農村風景・筑波山などを題材に、素朴で温かみのある木版画を制作する氏。その作品と芸術観を紹介。　v-030

（1991年制作／18分）

躍る黒の奔流　版画家　富張広司

躍動的な線と鮮烈な白と黒のコントラストで、具象と抽象が混然一体となった独自の世界を展開する氏を工房に訪ね、木版画の制作工程を収録。　v-103

（2002年制作／23分）

拡がりゆく宇宙　版画家　栗田政裕

木材の横断面に凹凸をつけて摺る木口木版画に取り組む氏を取手市のアトリエに訪ね、制作風景を収録。緻密で幻想的な作品の魅力に迫る。　v-113

（2004年制作／21分）

主張する色彩　版画家　谷田川　卓

鮮烈な赤と黒を基調に、社会的なメッセージを込めた作品を制作する氏をアトリエに訪ね、シルクスクリーンの制作過程を収録。　v-123

（2006年制作／26分）

無明の闇より光を求めて
白木俊之 メゾチントの世界

ビロードのような黒色を基調に、幾何学文様や巨樹などをモチーフとした深い精神性と緊張感溢れる銅版画で知られる氏を紹介。　v-134

（2008年制作／26分）

宇宙への飛翔　版画家 サイトウ 良

製版や刷りなど、すべての工程を自身の手で行うことにこだわり、繊細かつ高度な技術でセリグラフを制作している氏。作品とインタビューを収録。　v-186

（2017年制作／14分）

識閾（しきいき）　版画家 佐藤杏子

頭で考えず、身体からでてくる線を求めて紙や銅板にドローイングをくり返し、作品に昇華している佐藤さんの制作過程を収録。　v-207

（2021年制作／27分）

巨木巡礼　版画家 國府田仁彌

和紙に墨色の木版画で画面いっぱいに巨木を刷ったあと、裏彩色や蒔絵を施して完成させる氏の制作過程を紹介。作品やインタビューも。　v-208

（2021年制作／36分）

日本画

歴史画家　松本楓湖

新利根町出身の日本画家 松本楓湖(1840～1923)の生涯と代表作を紹介。　v-019

（1990年制作／12分）

風狂野郎　林　十江

不遇のうちにこの世を去った天才画家 林十江(1777～1813)の生涯と作品を紹介。　v-027

（1991年制作／17分）

花鳥の薫り　日本画家　那波多目功一

牡丹のスケッチ、アトリエでの本画の制作を紹介。深化した心象世界を描き出す作品の魅力に迫る。
v-040

（1993年制作／16分）

艶やかに…　日本画家　大川一男

艶やかな女性像や清澄な風景画で知られる氏を土浦市のアトリエに訪ね、制作風景やインタビューを収録。　v-060

（1996年制作／21分）

生々流転 ―　日本画家　小林恒岳

静穏な自然美を描き続ける氏をアトリエに訪ね、父・巣居人の思い出、日本画の魅力、作品に寄せる思いなどを聞く。　v-065

（1997年制作／16分）

日本画家　小川芋銭の世界
芋銭の河童か、河童の芋銭か

牛久沼のほとりに住み、水魅山妖や農村風景、山水など多彩な作品を制作。近代日本画史上に特異な位置を占める芋銭の魅力を紹介。　v-077

（1998年制作／33分）

海を描く　画家　田中路人

伝統的な日本画のスタイルを破った独特の色彩と構図で、一貫して「生命讃歌」をテーマに描き続ける氏の、作品世界を紹介。　v-099

（2002年制作／17分）

空間を描く　日本画家　木間　明

墨を使った独特な画面構成で、メッセージ性の強い作品を描き続ける氏を伊奈町のアトリエに訪ね、制作風景とインタビューを収録。　v-109

（2003年制作／16分）

蝶が舞う花びら舞う　日本画家　飛澤行雄

アトリエでの屏風絵の制作風景とともにインタビューや作品も収録。東洋的・日本的美を追求した作品の魅力に迫る。　v-117

（2005年制作／18分）

壮大なる自然を見上げて　日本画家　谷中武彦

自然がもつ「気」をテーマに、スケールの大きな作品を制作する氏をアトリエに訪ね、制作風景とインタビューを収録。　v-125

（2006年制作／18分）

日本画ルネッサンス　中嶌虎威

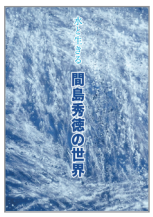
岩絵の具の美しさを生かした描法の研究を続ける氏。現代の琳派ともいうべきモダンな輝きを放つ中嶌作品の世界を紹介。　v-133

（2007年制作／21分）

心象世界への彷徨　日本画家　藤田志朗の世界

幻想的な心象風景を描く氏をアトリエに訪ね、創画展出品作の制作風景を収録。湯島聖堂「賢儒図像」復元作業についても聞く。　v-145

（2009年制作／15分）



水と生きる　間島秀徳の世界

傾けた用紙の上を水に溶けた顔料が流れる軌跡を利用して描くKinesisシリーズの制作風景や、観〇光EXPO 2010(京都・清水寺)などを収録。　v-150

（2010年制作／18分）

生命あるものに共感して　日本画家　斎藤彰男

鳥や魚をモチーフに、その自由で大らかな姿に自身を重ね合わせながら、生命の輝きに迫る作品を描く氏。父・隆三氏(美術評論家)の思い出も。　v-153

（2011年制作／12分）

日々ノ境メ。　國司華子

真っ白な画面から始める18分の物語。アトリエから仮想個展へ誘います。　v-162

（2012年制作／18分）

いのちのけはひ　日本画家　大坪由明

旅先で出会った風景や人物、動物などを描く氏。「生命力と躍動感」「品格と静謐」を求め続ける氏の作品世界に迫る。　v-172

（2014年制作／13分）

巨樹の声を聴け　日本画家　石村雅幸

詳細な写生を元に、緻密で迫力ある作品を描き続ける氏。院展出品作のための写生と本画の制作風景、インタビューなど収録。　v-183

（2016年制作／19分）

どこでもない場所　日本画家　程塚敏明

「裏彩色」を用いた複雑で鮮やかな雲の描写、広々とした空間、不思議な建造物などをモチーフとした、氏の作品世界を紹介。　v-198

（2019年制作／28分）

生命の鼓動　日本画家　藤島大千

身近な家族から神話・故事までさまざまな人物像をモチーフに、人間の強さ、命そのものの輝きと美しさを描く氏。インタビュー・制作風景を収録。　v-209

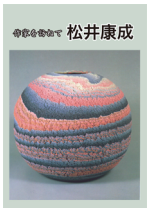
（2021年制作／20分）

小さい想いを拾い集め　日本画家　佐藤　豊

人が心の奥底に抱える悲しみや苦しみと、その先にある微かな希望を、幻想的な画面に表現している氏。アトリエに訪ね制作風景を収録。　v-220

（2023年制作／15分）

陶芸



作家をたずねて　松井康成

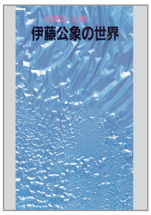
氏が取り組む練上手の技法を、香炉の制作過程を通じて解説。僧職を兼ねる氏の芸術観も併せて聞く。　v-004

（1987年制作／24分）

作陶25年、新たなる飛躍を目指して　荒田耕治

木葉天目の復元方法、大陶壁画の制作風景などを交えながら、荒田陶芸の美の世界を紹介する。
v-008

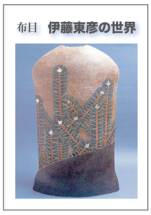
（1988年制作／18分）



—雰囲気・化粧　伊藤公象の世界

氏がシリーズとして制作を続けている「褶曲」「多軟面体」の制作過程を紹介。独自の芸術観も聞く。
v-015

（1989年制作／25分）



布目　伊藤東彦の世界

氏が得意とする「布目」の技法を紹介。インタビューも併せて、伊藤作品の魅力を探る。　v-021

（1990年制作／22分）

青磁・白磁の美を求めて　井上壽博

制作風景とインタビューを織り交ぜながら、優美な磁器の制作に取り組む、氏の陶芸人生を聞く。
v-028

（1991年制作／16分）

土の馥郁　堤　綾子の世界

無釉焼〆の滋味豊かな陶器を制作する堤さんを工房に訪ね、その陶芸人生を聞く。作品の制作過程も紹介。　v-034

（1992年制作／20分）

大甕陶苑　竹内　彰の世界

鉄釉や灰釉の抑えた色調の陶器で知られる氏を大甕の工房に訪ね、制作風景と作品に寄せる思いを紹介。　v-037

（1992年制作／24分）

現代のさびを求めて　陶芸家　太田慶三

素朴な作風で知られる氏を陶房に訪ね、民芸的な力強さと伝統美を追究した、その作品の魅力に迫る。　v-046

（1993年制作／20分）

書

書家　関　南沖　— 人と作品 —

最期の制作風景とインタビューを収録。多くの人に愛された氏の書と人柄の魅力を迫る。　v-047

（1993年制作／25分）

書家 川又南岳の世界　—「今」が聞こえる

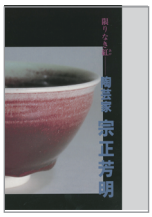
「常に時代の風を感じて、それを表現したい」と語り、自由で新しい書の姿を求め続ける氏。その多彩な作品世界とインタビューを紹介。　v-095

（2001年制作／25分）

板造り ― 陶芸家 安原喜孝の世界

「板造り」の技法を用い、中世の城をイメージした作品を作り続けている氏をアトリエ「紅椿窯(こうちんよう)」に訪ねる。 v-054

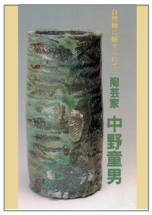
(1995年制作／19分)



限りなき紅― 陶芸家 宗正芳明

土の持ち味をいかした茶陶器や、深紅に発色する紅釉(辰砂)を用いた作品を制作する氏をアトリエに訪ね、制作風景を収録。 v-070

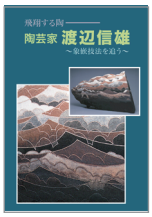
(1997年制作／18分)



自然釉に魅せられて 陶芸家 中野童男

自然釉の作品を追求し続ける氏の制作風景を収録。併せて土へのこだわり、陶芸の魅力などについても聞く。 v-076

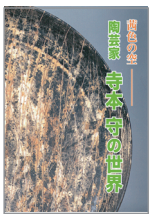
(1998年制作／24分)



飛翔する陶 ― 陶芸家 渡辺信雄 ～象嵌技法を追う～

象嵌技法による作品の制作過程を紹介。併せて笠間の土に対するこだわりや、主モチーフである鳥に対する思いも聞く。 v-080

(1999年制作／17分)



茜色の空 陶芸家 寺本 守の世界

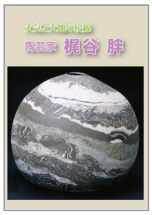
釉薬を使わない焼〆の土肌に、細かい線象嵌を配した作品で知られる氏を工房に訪ね、氏独自の「茜彩」による作品の制作風景を収録。 v-091

(2000年制作／19分)

自然に導かれて 陶芸家 下山田昌右

下山田さんを工房に訪ね、制作風景やインタビューを収録。自然の造形がモチーフという、重厚で滋味豊かな作品の魅力に迫る。 v-100

(2002年制作／18分)



大気と大地の接線 陶芸家 梶谷 胖

大地や気流の動感を表現した「彫壷」シリーズで知られる氏の制作風景とインタビューを収録。陶と石、木、鉄などを組み合わせた立体造形も紹介。v-101

(2002年制作／19分)

再生する景色 小林政美の世界

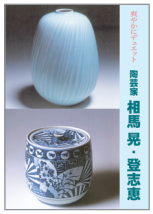
幾度も焼成を重ねた陶の肌と、ユニークな造形による作品で知られる氏を笠間市の工房に訪ね、制作過程を収録。幻想的な作品の魅力に迫る。 v-105

(2002年制作／32分)

風化―時の伝言 陶芸家 筒井 修

「風化シリーズ」「分割シリーズ」など、斬新でユニークな器を作り続ける氏の制作風景を紹介。 v-107

(2003年制作／28分)



爽やかにデュエット 陶芸家 相馬 晃・登志恵

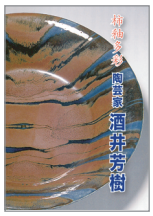
器全体に鎬を入れた端正な青磁器を制作する晃氏。植物を題材にした清楚な染付を制作する登志恵氏。夫妻の制作風景や作品を紹介。 v-115

(2004年制作／18分)

器の中に無限が拡がる 陶芸家 小峰 尚の世界

陶芸の枠にとどまらない、造形的作品を制作し続ける氏を岩瀬町の工房に訪ね、制作風景を収録。インタビューや作品も。 v-119

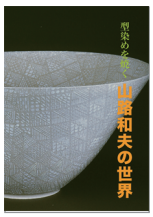
(2005年制作／22分)



柿釉多彩 陶芸家 酒井芳樹

素朴な柿釉を使い、伝統的な技法を用いながらも現代の暮らしに合うモダンな作品を作り続ける氏。制作風景とインタビューを収録。 v-121

(2006年制作／21分)



型染めを焼く 山路和夫の世界

染色で用いる型染めの手法を彩色に応用し、布の質感までも取り入れた、独特の風合いの焼物で知られる氏。その制作課程を紹介。 v-130

(2007年制作／19分)

光彩柔らかく 陶芸家 丸山輝悦

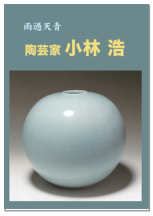
薄く施した浮き彫りの上に、柔らかな色彩の釉薬をのせて焼成した優美で気品あふれる磁器。その優美な作品の魅力に迫る。 v-138

(2008年制作／21分)

主張する器 陶芸家 菊地 弘

黒釉と銀彩を組み合わせたシャープな作品や、色の異なる化粧土を塗り分けた現代的な意匠の作品で知られる氏を工房に訪ねる。 v-149

(2010年制作／17分)



雨過天青 陶芸家 小林 浩

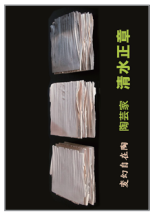
シンプルな形と柔らかな発色に表情豊かな貫入が融合した、品格が漂う青磁を制作し続ける氏を、笠間市の工房に訪ねる。 v-157

(2012年制作／16分)

蒼の軌跡 ― まだ見ぬ宇宙への憧れ
浦口雅行　青瓷の世界

青磁(瓷)を追求し、独創的な作品を制作している氏を石岡市の工房に訪ね、制作風景やインタビューを収録。多彩な作品も紹介。　v-163

(2013年制作／25分)



変幻自在 陶
陶芸家　清水正章

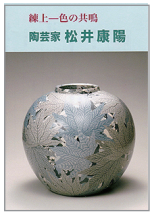
伝統的な技法を用いた器から抽象的なオブジェまで、多彩な作品を制作している氏。変幻自在な陶の魅力に迫る。　v-166

(2013年制作／15分)

炎を操る
陶芸家　羽石修二

釉薬をかけない焼締に魅せられた氏は、薪材や焼成温度、窯の中の作品の配置など、さまざまな要素を操りながら、理想とする作品に挑み続ける。 v-176

(2015年制作／18分)



練上一色の共鳴
陶芸家　松井康陽

発色の異なる陶土を組み合わせて作る練上技法に、取組む氏を陶房に訪ね、制作風景を収録。亡父・康成氏(人間国宝)についてなどの話も。 v-180

(2016年制作／19分)

戯れの陶
陶芸家　小林征児と駄々男

小林征児の名で陶芸を、ダダイズム、駄々っ児の意味を込めた駄々男の名でオブジェを制作する氏を笠間の陶房に訪ね、多彩な作品世界を紹介。 v-182

(2016年制作／23分)

手ざわりが生んだもの
久米みどり

一貫して陶による造形作品を制作している久米さんの、「古代花」の制作風景やインタビューを収録。「記憶のか・け・ら」「Megu」シリーズなども。v-187

(2017年制作／29分)

陶 ランカク
山元規子の世界

卵の殻のような陶片を幾重にも重ね、花や松ぼっくりを思わせる作品を制作している山元さんをアトリエに訪ね、制作風景を収録。v-192

(2018年制作／14分)

蜃気楼の彼方
陶芸家　前野善樹

手びねり紐づくりの技法で、異国の非日常的な風景をテーマに制作している氏。日本新工芸展出品作の制作過程やインタビューを収録。v-193

(2018年制作／20分)

陶の鳥
陶芸家　田山健司

「練り込み」の手法で一枚一枚羽を作り、鳥の姿全体を作り上げた後、焼成して完成させる、陶の鳥の制作過程を紹介。多彩な作品も。　v-201

(2019年制作／19分)

縄文からの風
陶芸家　植竹　敏

縄文時代の火焔土器の造形に惹かれ、その力強さに通じる文様を、掻き落としや象嵌の技法で表現している氏。制作過程や作品を紹介。　v-202

(2020年制作／19分)

形の在り処
陶芸家　井上雅之

雛形を基に、その形のエッセンスをさまざまな素材、道具、加工、焼成技術を使って「やきもの」で表す作品を制作している氏をアトリエに訪ねる。　v-206

(2020年制作／45分)

『泡』はじける―
陶芸家　飯沼耕市

表面にわざと気泡や剥がれを施す「銀泡彩」「溶岩釉」など、多彩な色や質感、器形との相性などを模索し続ける飯沼氏を紹介。　v-210

(2021年制作／13分)

自由から自遊へ
陶芸家　由良りえこ

不規則に組み合わせた箱に、草花などを抽象化した文様を描いた『自遊な箱』を制作している由良さん。その魅力に迫る。 v-216

(2022年制作／21分)

碧き炎
陶芸家　井上英基

「碧彩釉」と名付けた深いエメラルドグリーンの釉薬が生える作品で知られる氏。その制作風景やインタビューを収録。　v-218

(2023年制作／21分)

My Ceramic Journey
陶芸家　額賀章夫

デザイン性の高さと笠間焼の技法を用いた手工芸ならではの温かみのある作品が、国内外の多くのコレクターに愛されている額賀氏を紹介。　v-221

(2023年制作／20分)

工芸

伝統の漆を現代に生かす　漆芸家　小倉絃梧

氏が得意とする乾漆の制作過程の解説に併せ、漆の持つ魅力についても聞く。　v-006

（1987年制作／18分）

奥田コウドウの世界　空（うつろ）の時

氏の代表的シリーズ「枯葉」「雨を観る」の制作過程を紹介。幻想的で繊細な奥田芸術の世界を探る。　v-011

（1989年制作／17分）

線に遊ぶ　モザイク作家　須藤了三

茨城県内では数少ないモザイク作家として活躍する氏の、作品と制作の過程を紹介し、その魅力を探る。　v-023

（1990年制作／18分）

粋を染める　中村光哉　江戸友禅の世界

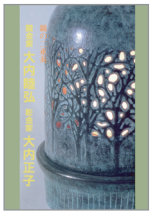
現代手描き友禅の第一人者である氏を工房に訪ね、染色の魅力について聞く。　v-039

（1992年制作／19分）

鎚（つち）の詩 —　松田正己の世界

鉄鎚や木鎚で金属板を伸展させ、成形する鍛金。その制作工程と、氏の鍛金作品の魅力を紹介。　v-041

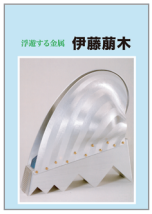
（1993年制作／23分）



鎚の二重奏
鍛金家　大内睦弘　彫金家　大内正子

鍛金、彫金と技法は違いながら、互いに影響し合い、競い合いながら活動を続ける大内夫妻の制作風景を紹介。　v-059

（1995年制作／26分）



浮遊する金属　伊藤萠木

軽金属を素材に、自然界のさまざまな形態を表現し続ける氏の制作風景を収録。美しい造形と鮮やかな色彩が生み出す作品世界に迫る。　v-062

（1996年制作／13分）

遥かな異国への憧れを織る　染織家 原田麻那

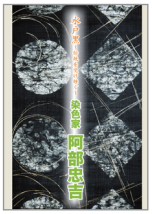
繊細な染めと織りで、万葉集や雅楽、シルクロードなどをイメージした幻想的な作品を制作し続ける原田さんの工房を訪ねる。　v-075

（1998年制作／21分）

幻惑する瞳　戸田和子の世界

少女や老人、妖精、悪魔など、さまざまなモチーフで幻想的な人形を作り続ける戸田さんの、制作風景を紹介。　v-083

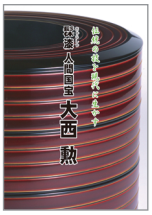
（1999制作／20分）



水戸黒～伝統を受け継ぐ～　染色家 阿部忠吉

江戸時代に水戸で発達した染色「水戸黒」を復活。金銀彩やろうけつ染めによる意匠を加えた新たな水戸黒に取り組む氏の制作風景を紹介。　v-094

（2001年制作／19分）



伝統の技を現代に生かす
髹漆 人間国宝 大西 勲

平成14年人間国宝に認定された氏の、伝統の技とスケールの大きな作品世界を紹介。　v-106

（2002年制作／25分）

紙布一途　染織家　桜井貞子

細く裁断した和紙をよって糸にして織り上げる紙布。失われつつあった伝統技術を現代に蘇らせ、独自の美を追求してきた桜井さんを紹介。　v-126

（2007年制作／28分）

七宝で描く—夢想空間　平田英夫の世界

心象世界を七宝の技法を用いて表現する氏。幾つものパーツを焼成し、絵画を描くように構成していく作品の制作過程やインタビューを収録。　v-139

（2008年制作／21分）

刺繍の舞　刺繍作家　田中範子

刺繍の技法を用いて、うねるようなデザインと鮮やかな色彩の平面作品を制作している氏。アトリエでの制作風景とインタビューを収録。　v-144

（2009年制作／16分）

クリスタルガラスを彫る
松浦松夫　グラヴィールの世界

回転軸に取り付けた銅製の円盤で彫刻していくガラス加飾技法・グラヴィールの第一人者として活躍する氏。その作品の魅力に迫る。　v-148

（2010年制作／20分）

江戸小紋　染工　浅野榮一

小紋の中でも最も難しいという縞柄の名工である氏の制作工程と作品を紹介。（本作は『いばらきの匠Ⅳ』から抜粋し、インタビューと作品を追加して再編集したものです）　v-155　（2011年制作／19分）

彫刻

木象嵌の魅力　木象嵌作家　深作修一

色の異なる木を組み合わせて模様を作り出す木象嵌の技法で、風景画などを制作している氏。制作工程と、滋味豊かな作品を紹介。　v-159

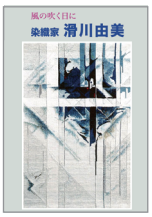
（2012年制作／13分）

型を彫る、色を差す ──型絵染を継ぐ
土手武彦・千鶴子の染色

芹沢銈介に師事し、型絵染の技法で作品を制作する土手夫妻。それぞれの制作風景と作品を紹介。

v-160

（2012年制作／26分）



風の吹く日に　染織家　滑川由美

身近な自然や街の風景をテーマに、平織をベースにしたさまざまな技法を使い分け、抽象的に表現している滑川さん。「織」ならではの魅力に迫る。　v-170

（2014年制作／14分）

鍛金　友常みゆき

空洞を内包したユニークな造形の作品を制作している友常さんをアトリエに訪ね、制作風景を収録。常陽史料館でのインスタレーションも。　v-189

（2017年制作／22分）

本場結城紬　染織家　十河慶子

伝統的な結城紬の技法を守りながら、幾何学的でモダンなデザインの独自の作品を制作している十河さんを工房に訪ね、制作風景を収録。　v-197

（2019年制作／16分）

鎚の響　金工作家　石黒美男

金属板を鎚で叩いて造形する「鍛金」の技法で、人間性の尊重や自然との共生をテーマに制作する氏を工房に訪ね、制作風景を収録。　v-199

（2019年制作／24分）

有線七宝　七宝作家　森千鶴子

草花などをモチーフに、薄い銀線で形をリアルに写し、半透明の釉薬を重ねることで深みのある色彩の作品を制作している森さんを紹介。　v-211

（2021年制作／20分）

心をかたちに刻む　彫刻家　一色邦彦

レリーフの大作や新制作展出品作の制作風景を織り交ぜながら、氏の芸術観などを紹介する。v-005

（1987年制作／16分）

彫刻家　山崎　猛 ～新たな世界を求めて～

昭和63年第2回ロダン大賞展優秀賞受賞作となった「女の方舟・曙」の制作過程を収録。氏の彫刻人生も聞く。　v-012

（1989年制作／19分）

いとしきものたち
彫刻家　小鹿尚久の世界

氏が取り組む乾漆作品の技法を紹介。戦争がきっかけになったという氏の彫刻人生を聞く。　v-024

（1990年制作／14分）

彫刻家　後藤末吉　～ヒンズーの踊～

氏独特の澱粉石膏を使った制作技法を紹介。インドをモチーフにした繊細な後藤彫刻の魅力を探る。v-036

（1992年制作／21分）

かたちあるものをとらえる
彫刻家　佐藤忠良 ～デッサンを描く～

身近な人々をモデルに、強い生命感と精神性を秘めた作品を作り続ける現代具象彫刻界の巨匠・佐藤忠良氏をアトリエに訪ねてインタビューを収録。優れたデッサン家としても知られる氏のデッサン風景も。　v-085

（2000年制作／26分）

自然を観る ──
彫刻家　柳原義達 ～デッサンを描く～

生命の根源に迫る作品を作り続ける孤高の彫刻家・柳原義達氏を自宅アトリエや軽井沢の別荘に訪ね、デッサンや小品の制作風景を収録。併せて、70年をこえる創作活動や作品に寄せる思いも聞く。　v-086

（2000年制作／30分）

ブロンズの華　笹戸千津子の世界

人体の美しさをみずみずしく表現し続ける笹戸さんの制作風景と作品を紹介。その師である佐藤忠良氏へのインタビューも収録。　v-072

（1997年制作／24分）

内なるビーナスを求めて　彫刻家　小森邦夫

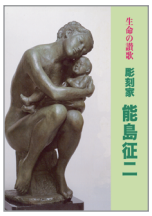
制作風景と彫刻人生を語ったインタビューを収録。日本芸術院会員であった氏の貴重な記録。v-050

（1993年制作／23分）

心のフォルムを変貌させて　彫刻家 六崎敏光

簡略化したフォルムで人体美を表現する氏をアトリエに訪ねてインタビュー。作品の制作過程や氏の野外彫刻も併せて紹介する。　v-051

（1994年制作／15分）



生命の讃歌　彫刻家　能島征二

端正な女性像で知られる氏をアトリエに訪ね、制作風景を紹介するとともに、「芸術は感動の表現」と語る氏の芸術観も聞く。　v-056

（1995年制作／17分）

青春讃歌 ―　彫刻家　川崎普照

具象の青年像や木彫の神像の制作風景にインタビューも交え、無駄のない造形の中に優しさと強さがにじむ作品の魅力を紹介。　v-064

（1996年制作／15分）

白く輝く生命を刻む　彫刻家　伊藤　鈞

大理石を素材に、生命感あふれる女性像などを制作し続ける氏をアトリエに訪問。野外に設置された作品も紹介。　v-073

（1998年制作／18分）

静かなる力を刻んで　彫刻家 平戸司郎

アトリエを訪ねて制作風景とインタビューを収録。さりげないポーズの中に生命感が溢れる平戸作品の魅力に迫る。　v-092

（2000年制作／18分）

内在するかたち　彫刻家 福島賜與 作品集

二科展出品の大作をはじめ、氏の木彫作品50余点を収録した作品集。　v-097

（2001年制作／35分）

時代を見つめる　彫刻家 岩澤　勇

量感豊かな抽象彫刻を発表し続ける氏を日立市のアトリエに訪ね、一陽展出品作の制作風景を収録。インタビューや野外彫刻も。　v-104

（2002年制作／15分）

身体のイメージ・鋳造のかたち
彫刻家 中村義孝の世界

粘土原形制作から蝋原形制作、鋳型制作、鋳造、仕上げまで、氏自らの手で行っている「蝋型鋳造法」によるブロンズ作品の制作工程を紹介。　v-132

（2007年制作／30分）

叢を創る　鳥山 豊　立体の世界

20を越えるユニットからなる木彫の大作「叢シリーズ」などで知られる氏をつくば市のアトリエに訪ね、制作風景やインタビューを収録。　v-143

（2009年制作／17分）

北沢 努の木とブロンズの風景彫刻

蝋型ブロンズ彫刻の原型制作から鋳造、仕上げまでの主要な工程を収録。自然との共生をテーマに多彩な素材で作る作品の魅力に迫る。　v-212

（2021年制作／30分）

記憶の領域　西成田洋子

古着や廃材などを素材に「記憶の集積物」として凝縮した立体造形と平面作品を制作し、インスタレーションとして展示する氏を紹介。　v-213

（2021年制作／25分）